

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既存概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2016年3月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ものづくりワークショップ

有馬籠 轡豊さんと、フラワーベースをつくる。



生活の中で使っているものの出来上がるまでのプロセスを、プロの技と知識に触れながら自らの手で辿っていくことで、ものの価値や作り手の想いを体感する場、「ものづくりワークショップ」。

今回のテーマは有馬籠。神戸・有馬の伝統工芸「有馬籠」の技を、有馬籠五代目籠師、轡豊氏から学びます。竹を割るところから体験し、ガラスコップを土台にしてフラワーベースを編み上げます。籠の文化や、様々な編目のレクチャーも受けながら、有馬籠の魅力に迫ります。竹細工が初めての方でもご参加いただけます。

｜タイトル｜ものづくりワークショップ 有馬籠 轡豊さんと、フラワーベースをつくる。

｜日時｜2017年3月29日（水）13:00～17:00 ｜会場｜KIITO 3F 303 ｜参加費｜2,500円（材料費を含む）

｜定員｜15名（事前申込制、先着順、定員に達し次第受付終了） ｜対象｜高校生以上

｜服装｜作業のしやすい服、汚れてもよい服装

｜申込み｜2017年3月10日（金）11:00よりウェブサイト（<http://kiito.jp/>）にて申込み受付開始

｜講師｜轡豊（くつわ ゆたか）（有馬籠） ｜主催｜デザイン・クリエイティブセンター神戸

●スケジュール

- 13:00 竹を割る・剥ぐ（へぐ）
- 13:30 底を編む
- 14:30 腰を上げる
- 15:00 胴を編み上げる
- 16:00 口をつづる
- 16:30 底竹を入れる
- 17:00 完成



●講師プロフィール

轡豊（くつわ ゆたか）有馬籠

有馬籠五代目籠師。良質な竹の産地、有馬ならではの伝統工芸「有馬籠」。その歴史は古く、1585年に有馬を訪れた頭如上人が土産として、北の政所に有馬籠を送ったという記録も残っている。現在、有馬籠を製造しているのは「竹芸有馬籠くつわ」一軒のみ。伝統を守りつつも、自身の「作り手に対する共感」を軸とした商品を取り扱うセレクトショップ「へてから」を2015年に有馬にオープンさせるなど、既成の価値観にとらわれないものづくりや商品提案を行っている。

お問合せ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230

開館時間 9:00-21:00 入館料無料 休館日 月曜日 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>